

か て い が く し ゅ う

家庭学習のてびき

- に しょう こ がくねん くらす二小の子は、どの学年もどのクラスも
まい にち いえ べんきょう毎日家で勉強します。
- いえ しゅくだい じしゅがくしゅう家では宿題、自主学習をします！

しゅくだい かなら
宿題は必ず
やります！

しゅくだい つぎ ひ かなら ていしゅつ
• 宿題は次の日に必ず提出しましよ

う。

しゅくだい わす がっこう
• 宿題を忘れたら学校でやります。

じしゅがくしゅう
自主学習を
します！

じぶん すず べんきょう
• 自分で進んで勉強しましょう。

じぶん べんきょう
• 自分で足りない勉強をしましょう。

じぶん べんきょう
• 自分でやりたい勉強もしましょう



瑞穂第二小学校

<家庭学習で「学ぶ力」「生きる力」を育みましょう>

学校での学習は、子供たちが将来社会で自立するための基礎となる「学ぶ力」「生きる力」を育てます。学校は、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭と連携することによって、その成果を何倍にも高めることができます。「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、どうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。

学校で1年間に主要4教科を学ぶ時間は、5、6年生で560時間です。1時間の授業は45分ですから、実際には、420時間です。国語、算数では350時間ですから、実質260時間余りです。家庭で、スマホやTVを毎日2時間程度見ている子供は、年間730時間になります。日々の生活の中で、子供は学校の学びよりはるかに多くの時間を、デジタル機器等で過ごしているのではないのでしょうか。頭の中がゲームやアニメのことで埋め尽くされているのではないかと思う児童も数多くみられます。

最も脳が最も活性する小学校の時期に、家庭で学習する環境を整え、集中した環境で家庭学習を続けることで、考える脳、知識を積み上げられる脳に育んでいきたいと思えます。その中で、集中する力やしっかりとした考え方、学習習慣が身につきます。困難なことに出合ってもくじけない粘り強い心をもった大人になってほしいと思えます。家庭学習の定着は、子供の主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となるのです。家庭学習の充実のためには、家庭の支援や協力がなにより必要です。この手引きを十分に活用して子供たちの学ぶ力を高めたいと思えます。

<家庭を「学び」の環境に>

すすんで学ぼうとする力は、子供が一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、子供は、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。学校と家庭とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を育んでいきましょう。

<家庭が心がけること 学校が心がけること>

- * 家庭と学校とが、家庭学習の習慣化を目指して協力し合うことが、子供の心を耕し、「学ぶ力」を育てます。
- * 子供の家庭学習が充実するよう、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。

《家庭では…》

- ☆ 生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境を整えましょう。
- ☆ がんばりを認め、励まし対話のある温かいふれあいを増やしましょう。

《学校では…》

- ☆ 基礎学力をつけ、学び方を教え、主体性を育てる学習指導を目指します。
- ☆ 子供のよさを生かした家庭学習の提案を推進します。
- ☆ 学ぶことの大切に気付かせやり抜く力を高めるために、家庭学習をやりぬくよう支援、指導します。

<家庭学習って なあに?>

家庭学習では、宿題だけでなく自主学習もします。

◎宿題…毎日、必ずしなければならない課題です。先生から出されます。忘れた時は学校でやります。二小の子はどのクラスも必ず宿題をやります。主に「読む」「書く」「計算する」などの基礎学力を身に付けることをめざします。

◎自主学習…毎日、自分で学ぶことを決めて取り組みます。ノートにやったことを記録します。お家の人のサインをもらいましょう。自分で必要な学習に取り組みましょう。やりたいこと、調べたいことをノートにまとめてもよいでしょう。自分で課題を見つけ、追求する力が育ちます。思考力や表現力など、社会にでたときに役立つ力が身につきます。

<例>

国語…漢字、意味調べ、視写、日記、音読、テストでまちがえた漢字を練習する

算数…計算練習、問題作り、実際に測って調べる、教科書の予習、復習、テストでまちがえた問題をもう一度ノートに写して解いてみる、家にあるドリルをノートに解いてみる。

社会・理科・総合…勉強したところに関係あることがらを本や参考書、地図帳などで調べる。調べてみたいことや大事なことをノートにまとめる。

家庭・体育・図工・音楽…学習したことを家庭でもためてみる。

英語…アルファベットや単語、基本文型を声に出しながら書く。音読、基本文型を使って英語の作文

※ 東京ベーシックドリル、市販のドリルや問題集に取り組んでみるのもいいでしょう。

<家庭学習で身につく力って?>

基礎学力が確実に身につくだけでなく、自分で学習時間を作り出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」だけでなく、見えない学力（「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」）となって、自分自身を高めます。これらの力は、毎日こつこつと努力する繰り返しの中で身につけていきます。社会人として必要な力でもあります。

<家庭学習で困ったら?>

この手引きに、発達段階に合わせた参考例をのせています。取り組んだら、ノートに結果や考えをまとめるなどして家族や学校の先生に見てもらいましょう。相談するときにも役立ちます。まず、できることから取りかかってみましょう。

～家庭学習3つのやくそく～

- ① テレビや音楽を消して、学習に集中する。
- ② きれいな机の上でする。
- ③ 物を食べながらしないで、よい姿勢でする。

<学習時間のめやす>

20～90分

(15分×学年)

1 年

学習時間のめやす 20~30分

1 音読（声を出して読みましょう）

- いま、べんきょうしているところを、なんかいよむかじぶんできめて、こえをだしてよみましょう。
- すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。
- れんしゅうしたら、おうちのひとにきいてもらいましょう。
- よんだら、きょうかしよやおんどくカードによんだしるしをつけましょう。

2 文字の練習

- ならったひらがな・カタカナ、かんじをひつじゅんにきをつけてノートにれんしゅうしましょう。
- ひらがなで、しりとりをしながらかいてみましょう。
- なかまのことばをあつめてみましょう。（くだもの・どうぶつ・ぶんぼうぐなど・・・）
- きょうかしよのぶんをうつしましょう。

3 日記・作文

- くつつきの「は」「へ」「を」つかってぶんをつくりましょう。
れい：「わたしは、うたをうたいました。」
- カタカナのことばやかんじをつかってぶんをつくりましょう。
れい：「ぼくは、土をほってチューリップのきゅうこんをうえました。」
- よんだことや、たのしかったことを、えにつきにかきましょう。
- おうちの人やせんせいなどにおしえたいことをぶんにかきましょう。
- 1ぶんからはじめて、2ぶん3ぶんとふやしていきましょう。
- かぎかっこをつかってみましょう。
- おはなしをつくってみましょう。

4 読書

- えほんやいろいろなしゅるいのほんをよみましょう。
- よみおわったら、「どくしよのしおり」にかきましょう。

5 計算練習

- 10までのかずをかくれんしゅうをしましょう。
- あわせて10になるかずをかきましょう。れい：（2と8、6と4）
- 20よりおおきいかずを10がいくつと1がいくつにわけましょう。
- 100までのかずをかいてみましょう。
- たしざんやひきざんのれんしゅうをしましょう。

6 その他

- いえにあるもんだいしゅうをするのもいいですね。
（こたえあわせをして、まちがったところはきちんとなおしましょう。）
- うえにかかれていないがくしゅうをじぶんでかんがえてするのもよいことです。

7 ノートの使い方

- まいにち1ページは、やりましょう。
- ノートは、15mmほうがんをつかきましょう。
- やったら、おうちの人にサインをしてもらいましょう。



2 年

学習時間のめやす20～30分

1 音読（こえを出してよみましょう）

○ 今べんきょうしているところをなんかいよむかじぶんできめて、こえを出してよみましょう。

（・かん字を正しく・気持ちよこめて・きいている人にいみがわかるように）

○ れんしゅうしたらおうちの人にきいてもらいましょう。

○ よんだら、きょうかしょや音どくカードによんだしるしをつけましょう。

2 漢字の練習

○ ならったかん字をひつじゅんに気をつけてノートにれんしゅうしましょう。

（よみがなもつけましょう。）

○ いみのわかることばでかきましよう。

（「言」ではなく「言う」で練習）

3 日記・作文

○ ならったかん字やかなをつかってみじかい文をつくりましよう。

○ 思ったことや気づいたことを入れてあそんだことやたのしかったことをかきましよう。

○ 「」を正しくつかってかわ文を入れた文をかきましよう。

4 読書

○ ものがたりやいろいろなしゅるいの本をよみましよう。

○ よみおわたたら、「どくしょのしおり」にかきましよう。

5 計算練習

○ たしさんやひきさんのひっさんのれんしゅうをしましよう。

○ 九九のあんしょうができるようにれんしゅうをしましよう。

○ さんすうのもんだいをつくってみましよう。

（たしざん、ひきざん、かけざんになるもんだいをつくりましよう）

○ 百ますけいさんれんしゅうをしましよう。

6 その他

○ いえにあるもんだいしゅうをするのもいいですね。

（こたえあわせをして、まちがったところはきちんとなおましよう。）

○ 上にかかれていない学しゅうをじぶんでかんがえてするのもよいことです。

7 ノートの使い方

○ ノートは、12mmほうがんをつかいましよう。

○ やったら、おうちの人にサインをもらいましよう。

○ 1日見ひらき2ページつかいます。左のページは、たんにんからしていされた学しゅうをします。右のページは、じぶんでおだいを見つけて学しゅうをします。



3、4年

学習時間のめやす40～60分

<国語>

1 音読（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
（・漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように）
- 練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。
- まだ勉強していないところも読んでいいです。

2 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した漢字を習った漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルの手本をみながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意してていねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。

例：「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で

- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。

例：「きへん」のつく言葉をノートに書く。

「明るい」←→「暗い」のようにノートに書く。

- だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。
調べたらノートに意味を書いておきましょう。
書くときは言葉と意味、例文を書きましょう。



3 日記・作文

- 題名を書きましょう。
- 習った漢字を使って書きましょう。
- 書き終わったら、言葉や字のまちがいがいないか確かめて直しましょう。
- 書くテーマの例
 - ・その日あった出来事、思ったこと、考えたこと
 - ・その日勉強して新しく分かったこと、気づいたこと、もっと調べてみたいこと
 - ・ニュース調べ（テレビのニュースや新聞の記事から考えたこと）
 - ・物語作り
 - ・夢日記（「もしドラえもんの道具があったら」「もし3つ願いがかなうとしたら」等）

4 読書

- いろいろな種類の本を読みましょう。
- 読み終わったら、「読書の記録」に書きましょう。

5 視写

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
- 文や言葉をかたまりごとに見て、ていねいに書き写しましょう。
- 書き終わったら、もう一度読んでみましょう。

<算数>

1 授業で勉強した内容（復習）

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
(同じ問題を何度も練習すると間違えないで早くできるようになります。)
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。問題をといたら丸付けをしましょう。
- まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。
- ノートを見て、問題がどうやったら解けるのかを言葉や式で表してみましょう。
- 定規やコンパス、分度器などを使って計ったり図形をかいたりする練習をしましょう。

2 プリントやテストの問題

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

<社会・理科>

1 教科書を読む

- その日に勉強したところや、今度勉強するところを読んでみましょう。

2 調べ学習

- 勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑や事典・インターネットなどで調べる。
- ノートに書いたり、○○新聞などにまとめたりする。
- 生き物や星、月の観察をしましょう。
- 都道府県の有名なもの（食べ物や建物など）を調べる。
- 鉄道や道路の名前調べをする。(自分が行ったことがある場所、行ってみたい場所)

<その他>

- 家にある問題集をするのもいいですね。
(答え合わせをして、まちがったところはきちんと直しましょう。)
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。
- ベーシックドリルをノートにやりましょう。

<ノートの使い方>

- 1日1ページ以上ノートにやりましょう。(5ミリ方眼)
- 日付と振り返り(感想)を書きましょう。
- おうちの人に見てもらい、サインしてもらいましょう。

5、6年

学習時間のめやす60～90分

<国語>

1 音読（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
（・漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように）
- 練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。
- まだ勉強していないところも読んでいいです。

2 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した漢字を習った漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルをみながら「とめ」「はね」「はらい」に注意していねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
例)「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で書きましょう。
- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。
例)「きへん」のつく言葉をノートに書く。木、材、林、机、杉…
「明るい」←→「暗い」のようにノートに書く。
- だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。
(調べる前に意味を予想してみましよう。調べたらノートに意味を書きましよう。例文も書きましよう。)

3 日記・作文

- 意味調べをして意味や例文を書く。その言葉の熟語を使って短文を作る。
- 日記の書き方
 - ①心に残った出来事を思い出して、何枚かの付箋にできごとや、考え、感想を書く。
 - ②付箋を並べて整理し、文章にする。
 - ③題名をつけて、習った漢字を使って文章に書きましよう。
 - ④書いた文章は必ず読み返してみましよう。
- ニュースや身の回りの事柄から自分でテーマを決め、意見文を書いてみましよう。
(～についてぼくは○○だと思います。理由は、3つあります。1つめの理由は、…
2つ目の理由は…、3つ目の理由は…、最後に感想を書く)等、書き方を工夫しましよう。
(目にとまった新聞記事を切り抜いておくとよいでしょう)

4 読書

- いろいろな種類の本を読みましよう。
- 気に入った作者の本をたくさん読むことも面白い読み方です。
- 読み終わったら、「読書の記録」に書きましよう。

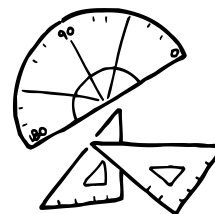
5 視写

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
- 文をかたまりごとに見て、ていねいに書き写しましょう。何度も見てはだめです。(慣れてきたら一回で見るかたまりを長くしていきましょう。書き写すのが早くなります。)
- 文や言葉をかたまりごとに見て、ていねいに書き写しましょう。
- 書き終わったら、もう一度読んでみましょう。

<算数>

1 授業で勉強した内容(復習)

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。(同じ問題を何度も練習すると間違えないで早くできるようになります。)
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。問題をといたら丸付けをしましょう。
- まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。
- 課題や問題のやり方を言葉や式でノートにまとめましょう。
例) 底辺が8 cm、高さが5 cmの三角形の面積を求めます。
三角形の面積は三角形を二つ重ねて、平行四辺形の形にします。
平行四辺形は底辺かける高さで面積が求められます。
この場合の平行四辺形は底辺が8 cm、高さが5 cmなので
平行四辺形の面積 = $8 \text{ cm} \times 5 \text{ cm}$
三角形は、平行四辺形の半分なので、
三角形の面積 = $8 \text{ cm} \times 5 \text{ cm} \div 2$ という計算でこたえが求められます。



2 プリントやテストの問題

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

<社会・理科>

1 授業で勉強した内容(復習)

- 大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

2 教科書の少し先の内容(予習)

- 声を出して教科書を読んで、視写しましょう。
- 分からない内容や興味のあることを図鑑や事典・インターネットなどで調べましょう。

<その他>

- 家にある問題集をするのもいいですね。
(答え合わせをして、まちがったところはきちんと直しましょう。)
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。
- ベーシックドリルをやりましょう。(国語、算数等) ノートにやりましょう。

<ノートの使い方>

- 1日に見開き(2ページ)以上はやりましょう。
- ノートは5ミリ方眼(算数、理科、社会のノートと同じです。)を使いましょう。
- 日付は必ず書くようにします。
- 終わったら、お家の方にサインをもらいましょう。